

施工概要



①基礎コンクリートの打設



②側面壁の架設



③中間柱の架設



④支持梁の架設



⑤屋根梁の架設



⑥底版の配筋



⑦底版コンクリートの打設



⑧間詰めコンクリートの打設



⑨浮力対策突起の施工



プレキャストPC部材組立式
雨水貯留施設

エコマモール

KAWADA
CONSTRUCTION CO.,LTD.

地下貯水槽
防災対策
大空間確保
プレキャスト
高品質・高耐久

KAWADA
CONSTRUCTION CO.,LTD.

エコマモール振興会事務局
川田建設株式会社 企画営業本部内
〒114-8505 東京都北区滝野川 6-3-1
TEL 03-3915-5467 FAX 03-3915-6126
mail : e-kanri02@kawadaken.co.jp

エコマモール振興会

2012.06 初版
2015.10 第2版
2021.06 第3版
2025.07 第4版

エコモールは

国土交通省新技術情報提供システム（NETIS 登録 No.HR-050005-A）に登録された技術です。

◇PC 技術を活かしています。

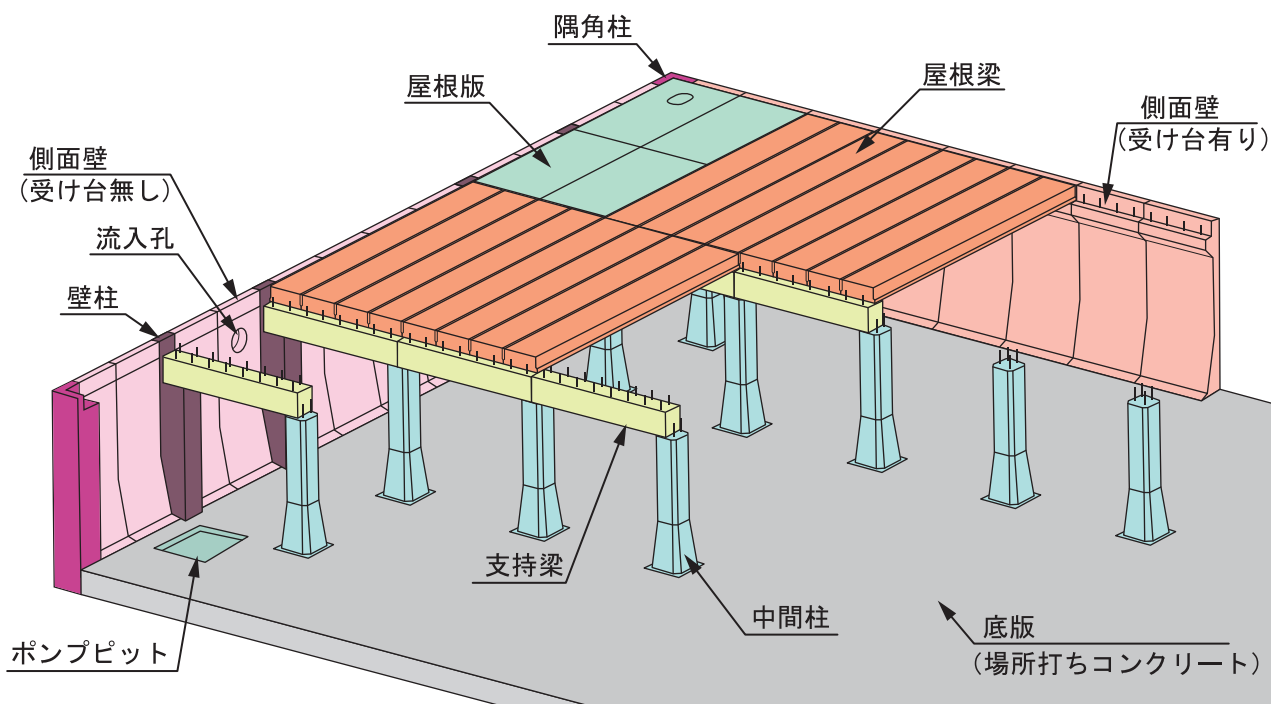
- ① 屋根部材を PC 部材とすることで長支間化を可能とした構造です。
- ② 屋根梁と屋根版の組合せにより、計画貯留量や敷地形状に適応した施設の構築が可能です。
- ③ 水平部材を PC 構造としているため中間柱の間隔が広くでき、有効貯水率が大きくなります。
- ④ プレキャスト製品なので、場所打ちコンクリート製と比べ、現場工期を短縮できます。
- ⑤ 屋根部材・支持梁の接合にピン構造を採用しており、さらに現場工期を短縮できます。
- ⑥ 大空間が確保でき、メンテナンス時の視界が良好で、小型重機等による清掃が可能です。

◇確かな技術を用いています。

- ① JIS 製品認証および PC 部材品質認定を取得した管理工場にてプレキャスト部材を製作します。
- ② 雨水貯留施設に関する基準類で規定される性能※¹を満足しています。
- ③ 実物大実験によりピン接合部の安全性を確認し、建設技術審査証明※²を取得しています。

※ 1 「下水道施設の耐震対策指針」（社団法人日本水道協会）で規定されている大規模地震時にも構造が崩壊に至らないように設計します。

※ 2 建設技術審査証明とは、民間において自主的に研究・開発した新技術について学識経験者等により技術審査され、その内容を客観的に証明されるものです。エコモールはこの技術審査を（財）土木研究センターに依頼し、建技審証第 0407 号として証明を受けたものです。



実物大実験

ピン接合部の水平加力実験

ピン接合部の状況 (加力実験後)

プレキャスト部材組立実験の状況

上部利用

赤坂雨水調整池（駐車場）



常永 2 号貯水槽（ビオトープ）



施工実績

圏央道川口トンネル北貯留槽



赤坂雨水調整池



常永 2 号貯水槽



常永 4 号貯水槽



2025 年 7 月現在

名 称	発注者	施工場所	完成時期	貯水量	外形寸法 (m)	備 考
九州工場貯水槽	川田建設	大分県杵築市	平成 16 年 8 月	1,140m ³	10.60×30.60×5.50	深型・矩形
圏央道川口トンネル北貯留槽	国土交通省 関東地方整備局	東京都あきる野市	平成 18 年 7 月	240m ³	9.50×14.00×3.35	浅型・矩形
赤坂雨水調整池	大垣市	岐阜県大垣市	平成 19 年 4 月	3,017m ³	32.60×30.60×5.30	深型・矩形
常永 4 号貯水槽	昭和田	山梨県昭和田	平成 21 年 8 月	5,300m ³	60.60×30.60×5.30	深型・台形
常永 3 号貯水槽	常永土地区画整理組合	山梨県昭和田	平成 22 年 1 月	4,010m ³	25.60×45.60×5.30	深型・矩形
常永 1 号貯水槽	常永土地区画整理組合	山梨県昭和田	平成 23 年 10 月	1,110m ³	23.00×32.00×3.35	浅型・台形
常永 2 号貯水槽	常永土地区画整理組合	山梨県昭和田	平成 25 年 10 月	7,770m ³	99.50×41.00×4.05	浅型・台形
大和田地区貯水槽	新座市	埼玉県新座市	令和元年 12 月	16,500m ³	75.60×40.60×7.30	深型・矩形
川南貯水槽	福山市	広島県福山市	令和 5 年 11 月	8,290m ³	60.60×30.60×6.30	深型・矩形